

阪神

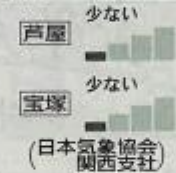
きょうの天気

戸屋	宝塚
☀️	☀️
午前	午前
午後	午後
夜	夜
16	16
10	9
気温	

あすの天気

☀️	☀️
10	10
〇数字は降水確率	
→	のち
／	一時
／	時々

花 粉(18日)



■ 阪神総局
〒662-0971
西宮市和上町6-25
TEL: 0798-33-5541
FAX: 0798-23-0302
e-mail
hanshin
@kobe-np.co.jp

■ 本社報道部
〒650-8571
神戸市中央区
東川崎町1-5-7
TEL: 078-362-7040
FAX: 078-360-5501
e-mail
houdou@kobe-np.co.jp

■ 映像写真部
TEL: 078-362-7047
FAX: 078-360-5508
e-mail
photo@kobe-np.co.jp

火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題、生活情報を上記へご連絡ください

「障害を強みに変えられる場をつくりたい」。2016年、発達障害児向けのプログラミング教室「キッズテック」を尼崎市内に開いた。国内初の試み。生徒2人からの船出だったが、5年弱で東京を含む計4校に展開し、小中学生約230人が在籍。実行したい作業をコンピュータに指令するプログラミングの腕を磨いている。

大学卒業後、母の手伝いで障害者の就

プログラミング教室

代表取締役社長

ひと探訪

すみやま たけし
住山 健さん (尼崎市)



メモ

ブラスイノベーション代表取締役社長。プログラミングの知識はなかったが、社交性を武器に旧友に片っ端から連絡し、大手勤務の専門家を探し出した。4度の猛アタックで、友人は創業者に加わった。夢への熱量は半端ではない。

発達障害児 可能性引き出す

業支援に関わった。特別支援学校や自治体で面接などに携わる中で、発達障害者が就職を諦め、単純な仕事ばかりを選ん

でいる現状に疑問を感じた。ある時、政府会議の議事録の一文に目が留まった。「小学校でプログラミング教育が必修科目になる」。プログラミングが不足していることも知っていた。「発達障害者に特有の、得意なことへの集中力や緻密さはプログラミングに生かせる」。直感から起業を決めた。

反響は想像を超えた。不登校や引きこもりの子がいる保護者から「ここなら通い続けられる」との声が相次いだ。「協調性がない」とされてきた子たちも、ここではスイッチが入ったように感じた。

昨春、教室の1期生が入社した。総務や経理など社内業務を効率化するソフト

開発の即戦力となった。「新規事業だけと軌道に乗っています」と教え子の活躍を喜ぶ。

昨年は、尼崎市と一緒に小学生向けのワークショップを開いた。絵本「スイミー」に出てくる小魚の群れのアニメーションをプログラミングで作るなど、学校の学習と連動した実習が好評だ。

モットーは「人に夢を与えられる仕事を」。パイロットを志し米留學もしたが、航空会社の身体検査で不合格の挫折も味わった。たが今は胸を張って言える。「人に夢を与え、一人一人の可能性を引き出せる仕事に出会えた」と。尼崎市在住。31歳。(竹本拓也)